Ｅ２本日の試合結果一覧

開催日 **2021/11/13**

2021-22 V.LEAGUE DIVISION1 MEN

試合番号 : 142	試合会場 : 墨田区総合体育館		観客数 : 900
開始時間 : 15:00	終了時間 : 16:58	試合時間 : 01:58	主審 : 正岡　卓 / 副審 : 服部　篤史

FC東京（通算 3勝 7敗 ポイント : 12）		JTサンダーズ広島（通算 3勝 7敗 ポイント : 10）
3		**1**
25	第1セット	21
25	第２セット	18
24	第３セット	26
25	第４セット	17
	第５セット	

FC東京 監督コメント

2日間熱い応援ありがとうございました。
昨日の敗戦から選手たちがしっかり切り替えて戦えたことで、このような素晴らしい結果を得ることが出来ました。チームとしてはまだまだ伸び代があるので、このブレイク期間中にしっかりと修正をしたいと思います。
ホームゲーム開催にご尽力頂いた全ての方々に感謝いたします。

JTサンダーズ広島 監督コメント

FC東京の粘り強いレシーブに根負けしたゲーム展開になってしまいました。FC東京のすべてのパフォーマンスの方が上回っていたと思います。
応援頂いた皆様に勝利する姿をお見せできなかったことを残念に思います。今日の試合結果を意味のあるものにするためにも、技術面、精神面を見つめなおして次の試合に臨みたいと思います。
本日もたくさんの応援ありがとうございました。

要約レポート

ホームゲームで勝利したいFC東京と、連勝し波に乗りたいJTサンダーズ広島との対戦。
第１セット、序盤は、FC東京が小田嶋、山田（大）のブロックで波に乗り、柳町のアタックなどでリードする。対するJT広島は、坂下が攻守で活躍し、陳やエドガーのアタック、中島のブロックなどで追撃する。中盤、FC東京はエスペポのサービスエースなどで粘るJT広島を突き放す。終盤、FC東京は、クヴァ—レンのアタックなどでリードを保ち、セットを先取する。
第２セット、FC東京は攻撃陣が躍動し、優位に試合を進める。一方、リズムに乗れないJT広島は、西村の好レシーブからエドガーや陳がアタックを決めるが、連続得点を奪えない。終盤、FC東京は谷口のサーブが功を奏し、4連続得点して大量リードを奪う。JT広島は新井のアタックやブロックなどで追撃するが、FC東京は山田（大）がアタックを決め、セットを連取する。
第３セット、後のないJT広島は、スタートから新井と合田、山本を起用し、中島のブロックやエドガー、新井のアタックなどでリードすると、中盤エドガーを中心に攻め、点差を広げる。対するFC東京は、山田（大）のサービスエース、エスペポのブロックで追いつき、一進一退の攻防に持ち込む。終盤、FC東京は、JT広島の新井の猛攻を古賀を中心に凌ぐと、エスペポがアタックを決めてリードを奪い、会場を沸かせる。その後、1点を争う熱戦となったこのセットは、JT広島が最後にエドガーがアタックを決めて奪い返す。
第４セット序盤から、小野寺のブロックやエドガーのアタックで得点し優位に進めようとするJT広島に対し、FC東京は、好調の柳町や山田（大）の攻撃で応戦する。中盤、FC東京は、エスペポのアタックや手原のブロックなどでリードし、粘るJT広島との点差を広げる。終盤、FC東京は、手原、山田（大）の連続ブロックなどで3連続得点して優位に立ち、このセットを取り勝利した。

試合番号 : 143	試合会場 : 松本市総合体育館		観客数 : 1,220
開始時間 : 13:00	終了時間 : 15:00	試合時間 : 02:00	主審 : 浅井　唯由 / 副審 : 西山　尚幸

VC長野トライデンツ（通算 0勝 9敗 ポイント : 0）		サントリーサンバーズ（通算 7勝 2敗 ポイント : 17）
1		**3**
20	第１セット	25
25	第２セット	20
21	第３セット	25
15	第４セット	25
	第５セット	

VC長野トライデンツ 監督コメント

コロナ禍の折、大会の開催にご協力いただいている全ての関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。
サントリーは非常にサーブが良いチームでしたので、サーブレシーブの準備を行ってきましたが、要所要所で崩されペースを掴み取る事ができませんでした。
明日こそ勝利できるよう、今日出た課題を修正し試合に臨みます。明日も応援のほどよろしくお願いいたします。

サントリーサンバーズ 監督コメント

本日もサンバーズへの温かいご声援をありがとうございました。勝利する事はできましたが、多くの課題が残る試合でした。
また、VC長野の闘志あふれるプレーやレシーブのしつこさなど、見習う点が多くありましたし、自分たちのミスを減らしていかなければ、上位争いは厳しいものになると思います。対戦相手の良いところを感じ、見て、考え、さらに成長していけるチームでありたいと思います。明日も、レベルの高い試合を長野の皆様にお見せするために、しっかりと準備をし臨みたいと思います。引き続きサンバーズへの熱い声援をよろしくお願いいたします。
最後に素晴らしい環境を準備いただいた皆様に感謝します。ありがとうございました。

要約レポート

第１セット序盤、サントリーサンバーズは大宅の振り分けたトス回しでゲームを先導する。VC長野トライデンツは中盤からブロックが機能し始め、また、レシーブで粘りリズムをつかみかけたが、サントリー柳田の２連続サービスエース等で突き放される。VC長野は、戸嵜の２連続ブロックで追いすがるが、25—20でサントリーが先制した。
第２セット、両チーム共にサーブミスが目立ち、五分五分で後半へ。VC長野は笠利の４連続得点を含む、計８連続得点でサントリーを突き放し、25—20でセットを取り返した。
第３セット、サントリーはアライン、藤中を中心に攻撃を仕掛け、VC長野は笠利の活躍に戸嵜が奮起し、中盤は打ち合いとなる。サントリーはブロックのワンタッチボールをフォローした大宅のレシーブ等で勢いが増し、３連続得点で頭ひとつ抜け出し、そのままこのセットを取り切った。
第４セット、終始サントリーのペース。VC長野は笠利、戸嵜にボールを集め挽回をするが、攻撃力に勝るサントリーがこのセットも取り、セットカウント３－１で勝利した。

試合番号 : 144	試合会場 : エントリオ（豊田合成記念体育館）		観客数 : 1,200
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:30	試合時間 : 01:30	主審 : 城　智人 / 副審 : 沢田　元

ウルフドッグス名古屋（通算 7勝 2敗 ポイント : 20）		東レアローズ（通算 6勝 3敗 ポイント : 20）
0		**3**
21	第１セット	25
20	第２セット	25
20	第３セット	25
	第４セット	
	第５セット	

ウルフドッグス名古屋 監督コメント

相手はとても良いプレーをしており、我々にとっては厳しい試合となりました。しかし、ここ豊田合成記念体育館エントリオにかけつけて頂いたファンの皆さまの声無き熱い声援によって、我々ウルフドッグス名古屋は勇気づけられて、最後までプレーすることができました。声を出せないファンの方たちの声援が我々には聞こえています。
明日は2021年最後のエントリオで行われるホームゲームです。いつも応援してくださっているサポーターの皆さまと共に闘い、常に成長し続けられるように頑張ります。Unite as One！

東レアローズ 監督コメント

今日は、ＷＤ名古屋のホームゲームでしたが、たくさんの皆さんにお越しいただき、本当にありがとうございました。
今日の試合は、藤井のトスワークが生きていたため、サイドアウトを安定してとることができ、優位に試合を運べていたと思います。しかし、アウェイゲームということで、明日は厳しい戦いになると思いますので、しっかり準備して臨みたいと思います。
本当は、たくさんの応援ありがとうございました。

要約レポート

６連勝中のウルフドッグス名古屋が５位東レアローズをホームに迎えての一戦。
第１セット中盤、ＷＤ名古屋のリベロ小川は、ブロックタッチで大きく後ろに逸れたボールを繋いだり、三枚ブロックを避けてインナーに打たれるボールのコースを読むなど、好プレーが光った。負けじと東レ・パダルが、レフトからストレートのライン際へ、ライトからインナーへと強打を決める。終盤、東レは高橋がクイックとブロックを連続で決めた場面から流れを掴むと一気にセットを奪った
第２セット、９－９の場面から、東レは高橋のクイック、パダルと李の連続ブロックポイントで流れを掴むと、最大で６点差までリードを広げる。ＷＤ名古屋はクレクの強打や傳田のクイック・ブロックで応戦するものの、最後は東レの李がブロックを決め、セットを連取した。
第３セット、ＷＤ名古屋はセッターを前田に代えてスタートすると、レフトから高梨、ライトからクレクと、コートの幅を最大限に利用して得点する。一方、東レの藤井は高橋と李にトスを集め、クイックで得点を重ねる。中盤、東レは富田の連続サービスエースで一歩抜け出すと、リードしたままゲームを優位に進め、ストレートで勝利した。

試合番号 : 145	試合会場 : パナソニックアリーナ		観客数 : 1,548
開始時間 : 14:05	終了時間 : 16:01	試合時間 : 01:56	主審 : 原　啓之 / 副審 : 山本　和良

パナソニックパンサーズ（通算 6勝 3敗 ポイント : 20）		堺ブレイザーズ（通算 7勝 2敗 ポイント : 20）
3		**1**
26	第１セット	28
25	第２セット	14
25	第３セット	19
25	第４セット	21
	第５セット	

パナソニックパンサーズ 監督コメント

先週の連敗があったからこそ、今日は非常に大きな勝利となりました。強い相手に勝てたことは非常に嬉しいです。
スピードを意識した練習により、今日は負けていても集中力を切らさず、点数を重ねる度に堺ブレイザーズをうまくコントロールできたと思います。
本日も、ご声援ありがとうございました。

堺ブレイザーズ 監督コメント

本日もたくさんの応援ありがとうございました。
今日は、パナソニックのペースで試合を進められてしまい、なかなか自分達の良い所が出せずに終わってしまいました。修正して明日に臨みます。
明日も応援よろしくお願いします。

要約レポート

第１セット、パナソニックパンサーズはクビアク、堺ブレイザーズはバーノンを中心とした攻撃で終盤まで一進一退の攻防が続きデュースの末、堺が先取する。
第２セット、パナソニックは深津の多彩なトスワークで相手ブロックを翻弄する。一方の堺は、途中から千々木を投入しスパイクを決めるも、大竹やクビアクのスパイクで有利な試合展開を見せたパナソニックが奪取する。
第３セット、堺は深津のブロックを含めた３連続得点でリードするも、大竹のスパイクやサービスエースでパナソニックが逆転に成功し、要所で仲本のスパイクや山内のブロックで得点を重ねたパナソニックが、セットを連取する。
第４セット、パナソニックは序盤、小宮を投入すると連続ブロックを決め３点リードする。一方の堺は、スターティングメンバーに迫田を起用し得点を重ねるも、大竹の力強いスパイクが次々と決まり、パナソニックがホームゲームを勝利で飾った。

※本票の著作権は、一般社団法人日本バレーボールリーグ機構に帰属します。